

I 学校経営の概要

1 学校経営の基盤

(1) 地域の実態

金浦地域は、にかほ市のほぼ中央部に位置し、日本海に面する自然豊かな地域である。旧金浦町の頃より漁業と農業を主産業としており、近年では、電子部品企業を中心とした工業地帯として発展し、地域の活性化を担っている。

本校の学区は、8町内からなる金浦地区とその周辺部（飛・黒川・赤石・前川・大竹）の地域からなり、バス通学区の黒川・前川・大竹を除く地域の児童は、徒歩で通学している。地域は、学校教育に関しての理解や協力する意識が高く、地域全体で子どもを見守り、積極的に協力・支援しようとする気運がある。

平成28年度からコミュニティ・スクールとなり、金浦小・中学校学校運営協議会を核として、保護者および地域住民が学校運営に積極的に参画する気運が高まり、課題改善や児童の健全育成に取り組む体制が整っている。また、にかほ市教育委員会からの「にかほ型小中一貫モデル校（施設併設型）」の指定を受け、義務教育9年間の学びと一人一人の育ちを見据えた金浦小中一貫教育を目指している。小中一貫教育による教員の兼務発令を機能させながら、金浦地域ならではの「将来を生き抜くために必要な自立する力」を育てていくことが求められている。

(2) 児童の実態

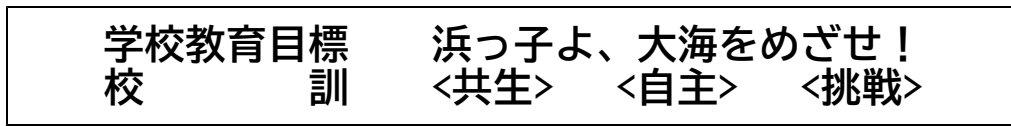
明るく素直で前向きな児童が多く、伸び伸びと生活している。上学年の児童が下学年の児童の面倒を見る姿が日常的に見られたり、校庭や体育館で学年に関係なく一緒に遊んでいる様子が見られたりと、お互いの成長に影響を与える縦の学年の良好な関係性が見られる。また、児童は、地域の祭典や伝統行事等に積極的に参加するなど、地域と密接に関わりながら育ってきている。さらに、校内外での児童の姿として、挨拶ができることが認知されており、生活習慣の基盤となる「挨拶・礼儀」が身に付いている児童が多い。

一方で、学習に対する意欲には個人差が大きく、学校生活の様々な場面で多様な支援を必要とする児童もいる。各調査からは、児童の学習内容の定着について、学年や教科によっては低いものがあり、自分の考えを表現することについて苦手意識をもつ児童も多い。そのため、学習の基礎・基本の定着はもとより、語彙力を増やし、自分の考えをしっかりともち、的確な形で表現できるようにするための指導方法の工夫が必要である。

学校行事はもとより、先に触れた地域の祭典や伝統行事への参加及びにかほ地域学を学ぶ機会など、体験活動の機会が増えてきていることにより、地域のよさ、ふるさとへの愛着の涵養につながっている。

2 学校教育目標と目指す姿

(1) 学校教育目標について



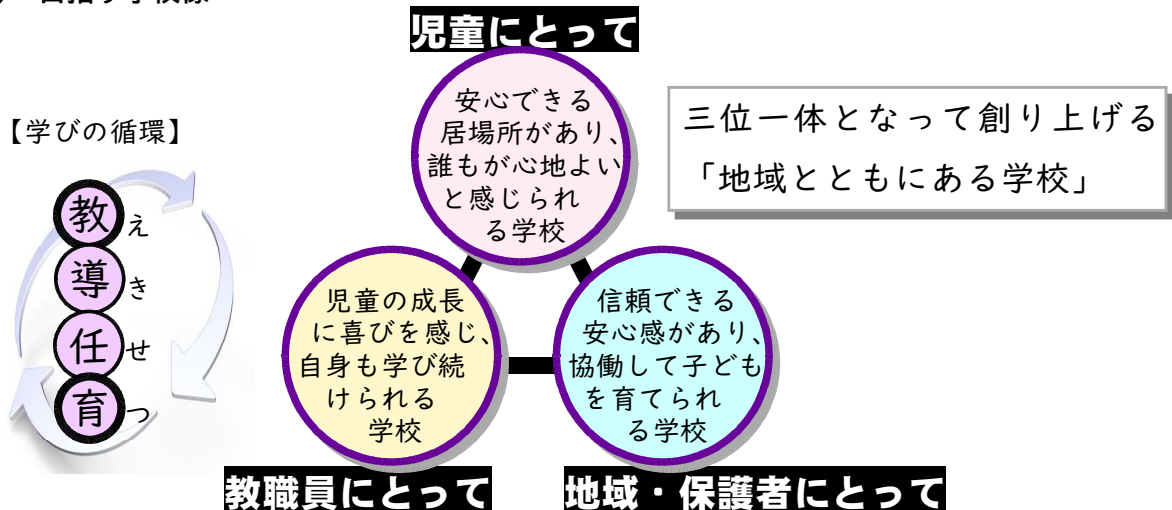
令和8年度スローガン



「浜っ子よ、大海をめざせ！」が、本校の学校教育目標の副題に登場したのは平成3年度である。以来、合言葉的もしくは副題的位置付けとして、地域住民の本校に託した思いや願いの象徴となり、平成26年度からは学校教育目標そのものに昇華して現在に至っている。本地域出身の南極探検隊長である白瀬轟中尉の偉業をたたえ後世まで伝えるとともに、白瀬中尉の生き方に学び、金浦地域ならではの教育を目指す大義を引き継ぐべく、今年度も継承している。「大海」の先には、学びを通してどこに向かうべきなのか、そして、何を実現したいのか、将来に向け確かなビジョンをもてるようになることがゴールとなる。

令和3年度には、小中一貫教育の観点から金浦中学校の教育目標及び校訓とのつながりを考慮し、校訓を「〈共生〉〈自主〉〈挑戦〉」としている。また、令和7年度からは、スローガンとして「あったかハート 〈共生〉 わくわく 〈自主〉 チャレンジ! 〈挑戦〉」を示し、校訓をイメージできるようにしている。校訓を意識して学校生活を送る機会を意図的に設けることにより、お互いを尊重し合い、主体的に取り組み、困難に立ち向かうことができる児童の姿を目指し、成長を後押ししていきたい。

(2) 目指す学校像



(3) 目指す子ども像

<共生> 共に生き、共に高まろうとする子ども

- ① 自他の命を大切にし、思いやりの心で関わる子ども
- ② 自他のよさと違いを尊重した上で、自分の考えを表現する子ども
- ③ 周りとは協力してよりよい活動をしようとする子ども

<自主> 目標をもって、主体的に生きる子ども

- ① 課題を発見し、自分の考えをもつ子ども
- ② 課題解決に向け、計画・実践をする子ども
- ③ 周りとはよい関わりをもち、課題解決をしようとする子ども

<挑戦> 基礎となる力を生かし、新たな力を生み出す子ども

- ① 基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けている子ども
- ② 自分のよさを知り、さらに伸ばそうと努力する子ども
- ③ 困難なことにも果敢にチャレンジし、粘り強くがんばろうとする子ども

(4) 目指す教師像

- ① 深い愛情をもって児童の気持ちに寄り添い、個々の実態を大切にしたい指導ができる教師
- ② 高い専門性と学校運営への参画意識をもち、教育実践と研修に努める教師
- ③ 全体の奉仕者としての使命と責任感をもち、地域や保護者の信頼に応える教師
- ④ 心身共に健康を保ち、健全な感覚を大切にする教師

3 経営の基本方針

互いに信頼し、認め合い、高め合う関係を育み、生き生きと学ぶ子どもの姿があふれる学校づくりを進める。

4 経営の重点

(1) 基本的な学習習慣の確立と、確かな学力の定着のために

- ① ゴールを意識して、達成する喜びを実感できる授業づくりに努め、学習意欲を高める。
- ② 学び合いの充実を図り、関わり合い、学びのよさに気付く授業づくりに努める。
- ③ 基本的な学習習慣の定着と、ICTを活用した個別最適な学習等による学力の定着を図る。
- ④ 家庭と連携・協働して、学年に応じた家庭学習・音読などの習慣の定着を図る。

(2) 所属感や達成感のある学校・学級づくりと、心に届く生徒指導の充実のために

- ① 学級づくりにおいて、学習はもちろん係活動や当番活動などで自己決定・自己選択の場を意図的に設定し、自己有用感・自己肯定感を育てる温かい声かけを日常的に行う。
- ② 行事や児童会において、計画立案から児童主体の活動を重視し、活躍できる場を意図的に設ける。計画の目的を意識し、達成に向けた体験を通して成就感を積み重ねる。
- ③ 「発達支持的生徒指導」を教職員で共通理解し、児童に寄り添った生徒指導を実践する。

(3) 道徳教育と地域に根ざしたキャリア教育の充実のために

- ① 道徳の指導、評価等の研修の充実を図るとともに、「いのち」を大切にしたい教育を推進する。
- ② にかほ地域学による体験的なふるさと学習を計画的に行い、ふるさとへの愛着を高める。
- ③ 小中学校連携による9年間のキャリア教育を意識した教育活動を展開する。

(4) 中学校、保育園、家庭・地域との連携のために

- ① 保育園・小学校・中学校の教育の連続性を大切に、連絡協議会等を通して学習・生活両面に関する連携を図る。特に、中学校教員による乗り入れ授業を通して教科教育の接続を図り、中1ギャップの未然防止に努める。
- ② 学校報の全戸配布、地域素材の活用、学校行事への参加等を通して、地域とともにある学校づくりと信頼関係の構築に努める。

(5) 教員の資質・能力の向上と明るい職場環境づくりを伴う業務改善のために

- ① OJTによる校内研修の充実を図る。
- ② 人事評価面談を活用し、個々のキャリアステージに応じた積極的な研修を推進する。
- ③ 「報告・連絡・相談」の日常的な実践と、対話と笑顔を大切にしたい人間関係形成を図る。
- ④ 「見直す」を合い言葉に、行事等では前例を踏襲するだけでなく、重要性と必要性を精査し改善を図る。

5 令和8年度 学校経営全体構造図

本県学校教育が目指すもの 豊かな人間性を育む学校教育

秋田県学校教育の指針	にかほ市学校教育の目標と重点	中央地区学校教育の重点
豊かな人間性を育む学校教育 I 思いやりの心を育てる II 心と体を鍛える III 基礎学力の向上を図る IV 教師の力量を高める	「夢をもち、心豊かで、元気な子どもの育成」 ～「活かす力」を育む学校教育の推進～ (1) 心豊かで創造的に生き抜く力を育む (2) 基礎学力の定着と学んだことを活かす力の育成をめざす (3) 地域社会に開かれた信頼される学校づくりを推進する (4) 健康でたくましい心と体を育成する	1 学校教育目標を具現する教育課程の編成と実施 2 思いやりの心やたくましい心と体の育成 3 資質・能力を育む各教科等の指導 4 教職員一人一人の力量と学校の組織力の向上を図る研修

学校教育目標 **浜っ子よ、大海をめざせ！**
 校訓 〈共生〉 〈自主〉 〈挑戦〉

令和8年度スローガン
あったかハート わくわく チャレンジ！

目指す学校像
 〈児童にとって〉
 安心できる居場所があり、誰もが心地よいと感じられる学校

〈教職員にとって〉
 児童の成長に喜びを感じ、自身も学び続けられる学校

〈保護者・地域にとって〉
 信頼できる安心感があり、協働して子どもを育てられる学校

目指す子ども像

〈共生〉 共に生き、共に高まろうとする子ども
 ア 自他の命を大切に、思いやりの心で関わる子ども
 イ 自他のよさと違いを尊重した上で、自分の考えを表現する子ども
 ウ 周りと協力してよりよい活動をしようとする子ども

〈自主〉 目標をもって、主体的に生きる子ども
 ア 課題を発見し、自分の考えをもつ子ども
 イ 課題解決に向け、計画・実践をする子ども
 ウ 周りとうい関わりをもち、課題解決をしようとする子ども

〈挑戦〉 基礎となる力を生かし、新たな力を生み出す子ども
 ア 基本的な生活習慣・学習習慣を身に付けている子ども
 イ 自分のよさを知り、さらに伸ばそうと努力する子ども
 ウ 困難なことにも果敢にチャレンジし、粘り強くがんばろうとする子ども

目指す教師像

- ① 深い愛情をもって児童の気持ちに寄り添い、個々の実態を大切に指導致える教師
- ② 高い専門性と学校運営への参画意識をもち、教育実践と研修に努める教師
- ③ 全体の奉仕者としての使命と責任感をもち、地域や保護者の信頼に応える教師
- ④ 心身ともに健康を保ち、健全な感覚を大切にする教師

経営の基本方針
 互いに信頼し、認め合い、高め合う関係を育み、生き生きと学ぶ子どもの姿があふれる学校づくりを進める。

経営の重点

(1) 基本的な学習習慣の確立と、確かな学力の定着 ① ゴールを意識した達成する喜びを実感できる授業づくり ② 学び合いの充実と学びのよさに気付く授業づくり ③ 基本的な学習習慣の定着と個別最適な学習による学力の定着 ④ 家庭と連携した家庭学習・音読習慣の定着	(3) 道徳教育と地域に根ざしたキャリア教育の充実 ① 道徳教育の充実および「いのち」を大切に教育の推進 ② にかほ地域学による体験的なふるさと学習の推進 ③ 小中学校連携9年のキャリア教育を意識した教育活動実践
(2) 所属感や達成感のある学校・学級づくりと、心に届く生徒指導の充実 ① 自己決定・自己選択の場の設定と自己有用感・自己肯定感を育てる温かい声かけ ② 児童主体の活動と活躍する場の体験を通じた成就感の積み重ね ③ 発達支持的生徒指導の実践による児童に寄り添った生徒指導	(4) 中学校、保育園、家庭・地域との連携 ① 保・小・中の教育の連続性を意識した連携（乗り入れ授業等） ② 地域に根ざした学校づくりと信頼関係の構築（学校報の全戸配布、地域素材の活用、学校行事への参加） (5) 教員の資質・能力の向上と明るい職場環境づくり及び業務改善 ① OJTによる校内研修の充実 ② キャリアステージに応じた積極的な研修の推進 ③ 「報告・連絡・相談」実践と、善い人間関係形成 ④ 「見直す」を合い言葉に、重要性と必要性を精査した改善

研究主題
関わり合い、学びのよさに気付く授業づくり

学校運営協議会 共有ビジョン

- ふるさとを愛し、地域の担い手、地域のリーダーとなる子どもの育成
- 白瀬中尉のように、挑戦する心を持ち、自立することができる子どもの育成
- 思いやりの心にあふれ、多くの人と交流することができる子どもの育成